

別 記

様式第1号（第8条、第9条、第12条関係）

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

年 月 日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
滋賀県草津市草津三丁目13-30
氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
草津市
草津市長 橋川 渉
第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称 および代表者の氏名)	草津市 草津市長 橋川 渉
事業者の住所 (法人にあっては、主たる 事務所の所在地)	草津市草津三丁目13-30

1 事業所の概要

事業所の名称	草津市立クリーンセンター					
事業所の所在地	草津市馬場町1200番地25					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	8	1	6	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	一般廃棄物処理業					
従業員の数	119	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	2	台
	コンプレッサ	4	台	空気調和設備	33	台
				照明設備	1657	台
				その他	クレーン3台 破砕機3台	

2 計画期間（および報告対象年度）

計画期間	開始年度	令和4	年度	報告対象年度	令和5	年度
	終了年度	令和8	年度			

3 計画の（内容・実施状況）

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

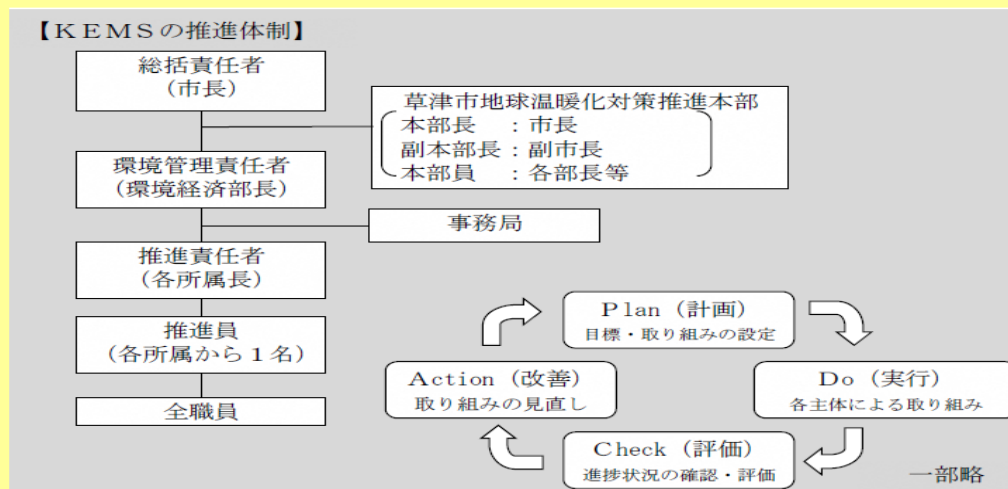
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

令和3年12月17日に表明を行いました「草津市気候非常事態宣言」に基づき、2050年カーボンニュートラルの実現を目指して、温室効果ガス低減に関する取組を進めるとともに、次の取り組みを進めます。

1. 廃棄物の処理に伴って生じる二酸化炭素をはじめとする様々な環境負荷を低減するために、廃棄物の適正処理を行います。
2. 資源の有効活用についての啓発・指導等を積極的に行い、廃棄物の発生抑制・資源化による資源循環型社会の構築を図ります。
3. 地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)に基づき策定している「草津市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」における、二酸化炭素排出削減に向けた具体的な取り組みを全庁、全職員で率先して取り組むことで、二酸化炭素排出削減に努めます。

2 取組の推進体制

草津市独自の環境マネジメントシステムである「草津市役所環境行動マネジメントシステム(KEMS)」の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

環境に配慮した施設として、平成30年3月から稼働した新クリーンセンターは、ごみの焼却熱を利用した発電を行っています。全ての炉を点検時に停止する期間以外は、施設の需要電力を全てごみ発電により賄っています。

その他、不要な照明の消灯や、公用車のエコドライブの実践など取り組んでいます。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	発電効率の良い、焼却炉の効率的な運転の実施	R4年度～	熱回収施設の発電効率が最大となるよう工夫をしながら運転管理を行っています。
2	運用改善	場内の不要な照明の消灯の実施	R4年度～	昼休みや使用しないスペースの照明の消灯を徹底して行っています。
3	運用改善	エネルギーの種類別使用量の把握	R4年度～	エネルギーの種類別使用量およびごみ発電量、太陽光発電量等の発電電力量を把握し、適正に管理しています。
4	運用改善	電気自動車の積極的な活用やエコドライブの実施	R4年度～	電気自動車を導入しています。公用車の利用は必要最低限にするとともに、乗り合わせ等を行っています。また、利用時はエコドライブに努めています。
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	CH ₄	見学者等に対し、ごみ減量の啓発を行い、一般廃棄物焼却処理量の削減に取り組めます。	R4年度～	令和5年度は、70団体、2,540人の見学を受け入れ、ごみの現状や3Rの推進の啓発を行いました。
2	N ₂ O	見学者等に対し、ごみ減量の啓発を行い、一般廃棄物焼却処理量の削減に取り組めます。	R4年度～	令和5年度は、70団体、2,540人の見学を受け入れ、ごみの現状や3Rの推進の啓発を行いました。
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
全ての炉を点検時に停止する期間以外は、施設の需要電力を全てごみ発電により賄っているため、エネルギー起源CO₂排出量については、大幅に削減ができていることから、上記の取組等により、令和3年度を基準年度として、以下の数値目標の維持を目指します。 原単位:0.00329(=127t-CO₂/38,620t) 原単位=エネルギー起源CO₂排出量/クリーンセンターへの搬入総ごみ量 原単位設定の考え方は以下のとおり ・温室効果ガスの排出量は、クリーンセンターへの搬入総ごみ量の増減に左右されるため、原単位指標(分母)を搬入総ごみ量に設定。 ・上記取組による削減効果を評価するため、電力のCO₂排出係数は計画基準年度(令和3年度)の係数に固定。	熱回収施設の発電効率が最大となるよう工夫をしながら運転管理を行うとともに、事務所の昼休み消灯や公用車運行の際のエコドライブ等、省エネの取組を実践しています。 しかしながら原単位は、R3年度の目標値0.00329から0.00372に増加する結果となりました。R3年度と比較して、R5年度はエネルギー使用量が減少しているものの、総ごみ搬入量が減少したことでCO₂排出係数が増加したことが、原単位増加の原因です。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年 度前年度の 実績	実績報告				
			(4)年度	(5)年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー 使用量	kL	73	61	71			
温室効果ガス 総排出量	t- CO ₂	17,165	16,945	18,894			
エネルギー起源 CO ₂	t- CO ₂	127	109	138			
非エネルギー起源 CO ₂	t- CO ₂	17036	16,834	18,755			
CH ₄	t- CO ₂	0	0	0			
N ₂ O	t- CO ₂	2	2	1			
HFCs	t- CO ₂	0	0	0			
PFCs	t- CO ₂	0	0	0			
SF ₆	t- CO ₂	0	0	0			
NF ₃	t- CO ₂	0	0	0			
エネルギー等原単位の推 移		0.00329	0.00285	0.00372			

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に
該当

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	ごみ焼却時の熱回収によるごみ発電	R4年度～	熱回収施設の発電効率が最大となるよう工夫をしながら運転管理を行っています。
2	太陽光発電設備による発電	R4年度～	太陽光発電設備の導入当初から、継続して発電を行っています。
3	地中熱を活用した空調設備の利用	R4年度～	地中熱利用の空調設備の導入当初から、継続して地中熱利用を行っています。
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	上記実施計画の維持管理を行う。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	10.4	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱		kW	バイオマス	kW	その他 (	3,100 kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績						

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(4)年度	(5)年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	20,327,004	19,782,036	19,472,440			
上記のうち自家消費量	kWh	5,977,314	6,017,817	5,921,055			

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
クリーンセンターでは、見学者を積極的に受け入れ、草津市のごみ処理の現状や廃棄物の発生抑制、資源化の有効活用等について啓発し、廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量の削減につなげ、CO ₂ ネットゼロ社会づくりに貢献します。	見学者を積極的に受け入れ、草津市のごみ処理の現状や廃棄物の発生抑制、資源化の有効活用等について啓発し、廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量の削減につなげ、CO ₂ ネットゼロ社会づくりに貢献しました。 令和5年度クリーンセンター見学者数：2,540人
	CO ₂ 削減貢献量
	t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
廃棄物処理量の削減は、温室効果ガス排出量の削減につながることから、計画基準年度(令和3年度)のクリーンセンターでの啓発者数を基準とし、多くの方にクリーンセンターへ見学に来ていただき、啓発を行います。 令和3年度クリーンセンター見学者数：2,362人

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
見学者を積極的に受け入れ、草津市のごみ処理の現状や廃棄物の発生抑制、資源化の有効活用等について啓発し、廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量の削減につなげ、CO ₂ ネットゼロ社会づくりに貢献しました。 令和5年度クリーンセンター見学者数：2,540人
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(4)年度	(5)年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	127	109	138			
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	126	108	144			
【調整後排出係 数】	kg-CO ₂ /kWh	0.351	0.351	0.524			
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(4)年度	(5)年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車両の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(4)年度	(5)年度	()年度	()年度	()年度
保有車両の数	台	4	4	5			
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	1	1	1			
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	その他	屋上・壁面緑化	R4年度～	屋上緑化を維持し、壁 面緑化の展開を進め た。
2				
3				
4				
5				